

2023年度 支援金事業報告書

提出日：2024年6月20日

事業名	長野県における「子ども第三の居場所」利用児童の沖縄県訪問交流 (2023)
事業ID	2023S03237
団体名	公益財団法人長野県みらい基金
団体ID	0532549
支援金額	4,990,000 円

【目的】

長野県の「子ども第三の居場所」を利用する子どもたちが、自然環境や文化に違いがある沖縄県を訪問することで、日常の生活では得られない体験や学びの機会を得ることができ、長野県と沖縄県が共同して子どもの体験学習を応援するモデル事業となる。

【目標】

沖縄県と長野県の「子ども第三の居場所」を利用する子どもたちの相互交流の実現

【事業内容】

1. 沖縄県への交流旅行

(1) 期間：2023年11月17日(金)～19日(日) 2泊3日

(2) 場所：沖縄県

○1日目(11/17)

信州まつもと空港→神戸空港→那覇空港→ホテル(ネイチャーみらい館)

*ホテルにて歓迎セレモニー(肝高の阿麻和利 鑑賞)

○2日目(11/18)

勝連城址見学→ビックハート(沖縄の有名なステーキ店昼食)→海中道路→

カヌー体験→宮城島の塩(ぬちまーす)工場見学→ホテル(リゾートアイランド伊

計島)→エイサー演舞鑑賞

○3日目(11/19)

那覇空港→神戸空港→信州まつもと空港

(3) 対象者：長野県の第三の居場所に通う子ども19名(スタッフ9名)

まちの縁側なから5名・岩村田商店街組合6名・

伊那まちBASE3名・Hug5名

(4) 内容：2023年11月に長野県の子ども19名が沖縄県を訪問※(うるま市)

○交流

【1日目】

- ・沖縄空港で歓迎セレモニー
- ・ネイチャーみらい館で夕飯を食べながら交流
- ・「肝高の阿麻和利」を鑑賞後、記念撮影・感想を発表

【2日目】

- ・勝連城址見学・ピックハート（沖縄の有名なステーキ店昼食）・カヌー体験
終日一緒に過ごし楽しい時間を過ごすし交流を深めた。

- ・海の体験・・・カヌー体験
- ・歴史を学ぶ・・・肝高の阿麻和利鑑賞・エイサー演舞鑑賞・勝連城跡見学
- ・食文化に触れる・・・沖縄の有名なステーキ店昼食・沖縄のお菓子
- ・その他・・・飛行機を乗り継ぎ目的地に行く 松本空港→神戸空港→那覇空港

○感想

〈子どもたちの声〉

- ・みんなで話をしながらの食事や沖縄を案内してもらったり、一緒にカヌーをしたり
すごくたのしかった。
- ・沖縄の子たちと友達になれて、一緒に遊んだり、ご飯を食べたりできて楽しかった
です。沖縄の子と友達になれるなんて滅多にないので良かったです。
- ・沖縄の子はフレンドリーで、食事のときにお話できて楽しかったです。カヌーが
楽しかった。1番最後のエイサーの踊りがマントとか布とかで炎を再現したりして
いて、かっこよくて釘付けになりました。
- ・カヌーがむずかしかったけど、やりかたのコツを覚えたら楽しかった。沖縄の子
がフレンドリーで仲良くなれて楽しかったです。お宿のご飯がおいしかった。
- ・新しく友達ができた。初めて行った沖縄の魅力をたくさん知ることができた。

〈親の声〉

- ・親元を離れてひとりで顔見知りの人間と飛行機に乗り初めて行く土地で出会う文化
体験、すべてがひたすら新鮮で楽しかったようです。



那覇空港お出迎え



マリンドル体験

肝高の阿麻利鑑賞



勝連城跡見学

2. 沖縄県の「子ども第三の居場所」利用児童とのオンライン交流

(1) 場所：各拠点同士グループを組んで交流

- A うるまわいど+まちの縁側なから+岩村田商店街組合
- B かつちんふえーばる+伊那まち BASE
- C からふる田場+Hug

(2) 実施日

A グループ

- ・2023年11月17日 12月12日・1月30日・2月21日

〇感想

- ・今まで知らなかった沖縄のようすを教えてもらったり、御代田について教えてあげたりして良かったです。
- ・お互いの県を知る事ができたのでとても楽しかったです。もう中々会えないと思うけどとても良い経験になったと思います。沖縄の子たちと仲良くなれて本当に嬉しかったです。また会えるといいなと思っています。
- ・美味しい食べ物など沖縄の魅力を教えてもらってワクワクした。
- ・長野県のことを伝えたら、沖縄の子達目がキラキラしてるように見えて嬉しかったです。早くまた会いたいと思った。
- ・他の子の事前リサーチを目の当たりにして、僕ももっとできたことがあるんじゃないかと思った。

B グループ

- ・2023年11月10日

内容：自己紹介、拠点の紹介、地元の紹介、質問タイムなど

〇感想

- ・沖縄県うるま市の子ども居場所“かつちんふえーばる”さんとの初めての交流が、伊那まち BASE の子どもの時間に MAXHAB を利用して開催されました。

- 初めて Zoom で対話する子もいて最初は、ドキドキでしたがだんだん質問も出てきて、現地に行かない子たちも交じって質問攻め。

「学校は楽しい？」という質問に、「つまんなーい。」「あー、一緒だね。」と意気投合。楽しい時間となった。

○グループ

- 2023年11月10日

内容：自己紹介・拠点の紹介・質問タイムなど

好きなこと、沖縄に行ってからどんなことをしてみたいかなど

その後、参加する子どもたちの保護者説明会も開催したので、保護者も同席。

- 2023年12月5日

内容：沖縄交流へのお礼や感想など

- 2024年2月20日

内容：田場さんの子どもから、長野交流についての質問など。近況報告など

- 2024年4月16日

内容：長野交流の感想や意見交換、沖縄・松川町の様子など

○感想

- 初めて沖縄に行くということで、とても緊張し不安もあったが、事前交流で楽しく交流できて、参加予定の子どもたちも、保護者も安心した様子だった



3. 沖縄県お迎え *子どもたち同士の交流

(1)期間：2024年3月1日(金)～3日(日) 2泊3日

(2)場所：長野県 車山高原 SKYPAK スキー場 11:30-15:00

○長野県 子ども30名 大人21名

○沖縄県 子ども20名 大人10名

(3)感想

○子どもたち

- 4か月ぶりに田場さんの友だちと会えて嬉しかった。
- 事前交流や、昨年11月に沖縄で顔なじみ友達に会える安心感があった。
- せっかく長野に来るのだから、楽しんでほしいと思って準備をした。

- 沖縄は雪がないので、雪とふれ合ってもらえて、スキーができたことはすごくいいことだと思いました。
- 沖縄の子どもたちもたのしんでもらっている様子でうれしかったです。
- 沖縄の子たちが長野県に来てくれて次は自分たちが紹介する番なので、長野県の事をいっぱい知ってもらうために色んな良いところを教えました。私はスキーが初めてなので沖縄の子と一緒に楽しむ事ができました。楽しかったです。
- 前に沖縄で会えた友達とまた話せたのが嬉しかった
- スキーが楽しかった。沖縄の子とまた会えて嬉しかった
- お昼を一緒に食べる事ができてよかった。沖縄の子がお楽しそうにスキーを滑っているのを見て僕が楽しかった。



○スタッフの感想や気づき・子どもたちの変化など

- 不安や人前で話すことが苦手だったり、コミュニケーション能力が少ないHugのフリースクールの子どもたちが「質問ゲーム」を担当することになり、とても大きく成長する機会を頂いたと感じます。
- 質問項目の原稿づくりから事前練習、発声練習などフリースクールのほかの子どもたち・スタッフを巻き込んで、何回も何回も練習を重ねました。本番では足が震えるほど緊張している様子だったが、仲間と一緒に活動し、大勢の人前で（予定よりも短時間にはなってしまいましたが）、臨機応変に対応し、練習以上の力を発揮しました。彼女たちの大きな自信に繋がったと感じます。この体験は、その後の生活や行動面でも自己肯定感や自己有用感が芽生え、とても明るくポジティブ思考で毎日、何事にも取り組む姿勢が大きな伸びしろでもあったことが、何よりの大きな成長でした。

- 移動時間の長さの乗車疲れを伴いましたが、現地での様々な体験で貴重な経験ができ、子どもたちは本当に楽しかったと親御さんたちにいっぱい話してくれて大満足でした。
- 親御さんと離れて過ごした旅は、子供たちを成長させた機会にもなりました。
- 学校でも家族でもない関係性の中で過ごした日々はとても貴重な体験でした。

4. 長野県と沖縄県のこどもの交流事業の成果

- これまで行ってきた「子ども第三の居場所」を利用することもたち同士の交流から、「子ども第三の居場所」に捉われない、幅広いこどもたちの交流に拡大する。様々なこどもたち同士の交流ができるよう、県レベルで連携のうえ、こどもの交流をより一層強化できるよう、長野県（県民文化部こども若者局次世代サポート課）、沖縄県（こども未来部こども家庭課）でも協議をし、継続的な交流事業となるよう準備をすることになった。

以上